

夏休み

れんがかい こども連歌の会

ひらのく のこ でんとうぶんか
～平野区に残る伝統文化にチャレンジ!～

れいわ ねん 8 がつ 5 にち か
令和7年8月5日(火) 14時～16時

● ^{ばしょ}場所 ^{ひらの としよかん}平野図書館

^{かい}1階エントランスホール

● ^{たいしやう}対象 ^{しょうがくせい ちゅうがくせい}小学生～中学生

● ^{せんせい}先生 ^{ひらの ほうらくれんがかい}平野法楽連歌会と

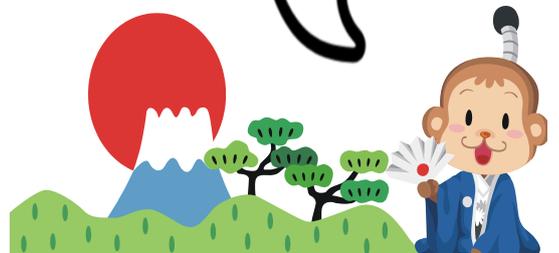
^{ひらの としよかんれんがかい}平野図書館連歌会のみなさま

● ^{ていいん}定員 ^{とうじつせんちやくじゆん めい むりよう}当日先着順 30名・無料

^{とうじつ き ひと じゆんばん}当日来た人から順番に
句をつくっていきます。

^{せんせい おし}先生が教えてくれるので、むずかしくないよ。
^{きせつ しぜん}季節や自然をおりこんで、ひとりが
^{かみ く}上の句(5・7・5)をよみ、次に、別の人が、
^{しも く}下の句(7・7)をよんで、ひとつの歌を作るんだ。
さらに、別の人が、^{かみ く}上の句、
^{しも く}下の句と続けていく。

12ぐらいの歌をあわせて、
ひとつの連歌ができあがりだ。



おおさかしりつひらの としよかん
大阪市立平野図書館

おおさかしひらのくひらのひがし
大阪市平野区平野 東 1-8-2

06-6793-0881

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>



令和六年七月三十一日

於大阪市立平野図書館エントランス

夏休みこども連歌(室書)

『氷のれん』の巻 十二韻

表

発句 風書し氷ののれんゆれてゐる よしこ (大)夏

脇 にぎわつまつりくまたのでみせ かなな (小)夏

三 つかいすぎお金たちまち消えうせて かえの (中)雑

四 かぞくえがおびふんどこぞとむし あや (大)雑

裏

一 お月見はスイートポテト食たいな さほ (小)秋月

二 遠いお空に打ち上げ花火 ももな (先生)秋

三 面影を浮かべ流るる清き水 美月 (大)雑

四 ミドリガメ好きこつらかたくて ひでのり (4感)雑

五 日なたぼろママもねむぞう山の奥 あおば (小)冬

六 雪解けの頃なつかしき里 教美 (大)冬雪

七 花ざかり大きな木々に春いちばん いぶき (小)春花

挙句 文庫(ふくろ)にめぐるひとは 麻里 (館長)春

令和六年七月三十一日

於大阪市立平野図書館エントランス

夏休みこども連歌(室書)

『そらすべり』の巻 十二韻

表

発句 なつかしき笑顔咲け咲けさるすべり 季美 (大)夏

脇 くまたこうえんセミがジージー ひなの (小)夏

三 ぼんやりとながむる池に鯉はねて まどか (大)雑

四 タベの風に心おたやか 利絵 (大)雑

裏

一 十五夜におもちつくのはだれだろう かなな (小)秋月

二 ふもとのあたり霧はれわたる 典央 (大)秋

三 あの人とドライブしたい生駒山 清美 (先生)雑

四 昔のように語り合おうよ 芹奈 (中)雑

五 冬の朝庭一面に淡き雪 莉子 (中)冬雪

六 ひこばえ萌えて色はさみどり 教美 (大)春

七 川沿ひも香りただよ花盛り 貴司 (大)春花

挙句 遍路の衣置きてあたたか 規子 (大)春

令和六年七月三十一日

於大阪市立平野図書館エントランス

夏休みこども連歌(室書)

『昨日今日』の巻 十二韻

表

発句 歌よやはげしあつきの昨日今日 絹代 (大)夏

脇 文庫(ふくろ)についでふ蝶のこえ声 きよの (大)夏

三 にはか雨服はずぬれすべなくて 美月 (大)雑

四 いづれ七夕会ふ人もなし よしこ (大)秋

裏

一 裏夜中に月のうさぎはあそんでる 慶太郎 (中)秋月

二 まほうをかけたぬいぐるみかも りの (小)秋

三 恋に落ち恋に狂るわが心 規子 (大)雑

四 夢にとひしは君が面影 季美 (大)雑

五 雪がふりプレゼント来るクリスマス 那琉 (小)冬雪

六 池のつららのとけるのはいつ おうが (小)冬

七 匂い満ち思ひ出の花おいかけて 莉子 (中)春花

挙句 霞のあとのつくしき宮 典央 (大)春